

**国内全グループ会社を適用範囲としたISO14001認証取得
～国内金融グループ最大規模のCSR・環境マネジメントシステムの構築～**

損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社（グループCEO取締役社長：櫻田 謙悟、以下「SOMPOホールディングス」）は、グループのCSRを推進する共通基盤として、2015年4月から国内全グループ会社にCSR・環境マネジメントシステムを導入しています。この度、認証機関による審査を経て、国内全グループ会社27社538拠点^(注)、約4万人を適用範囲としたISO14001認証を取得しましたので、お知らせします。

(注) 2015年4月1日時点の傘下グループ子会社

1. 取得したISO14001認証

発行日 : 2016年1月13日

登録範囲 : 損保ジャパン日本興亜グループにおける損害保険、生命保険および金融関連事業等の全ての業務

認証機関 : 株式会社日本環境認証機構

2. CSR・環境マネジメントシステムを通じた取組み

- ・SOMPOホールディングスでは、1997年に国内金融機関として初めてISO14001認証を取得以来、認証の維持・取得を通じた継続的な改善の取組みを展開してきました。
- ・SOMPOホールディングスが導入しているCSR・環境マネジメントシステムは、環境だけではなく、社会的責任の国際規格ISO26000に掲げられている人権、消費者課題といった観点も取り入れたマネジメントシステムとしている点が大きな特長となっています。
- ・グループで約2,500名の社員を、CSRの推進を担う「CSR・エコチェッカー」に任命し、地域特性や事業特性に応じた取組みを推進しています。
- ・これまでもCSR・環境マネジメントシステムを通じたグループのCO₂排出量の削減をはじめ、干ばつによる損害の軽減を目的とした天候インデックス保険の販売など、気候変動の解決に資する商品・サービスを提供してきました。

3. 今後について

SOMPOホールディングスは、「CSR・環境マネジメントシステム」をグループCSR推進の共通インフラとして活用し、社会的課題の解決に資する先進的な商品・サービスの開発・提供などを通じてレジリエントで持続可能な社会の実現に貢献していきます。

以上



SOMPOホールディングスは損保ジャパン日本興亜ホールディングスおよびグループの略称です。